

豊田景気実感調査

Viewing over Our Toyota's Economic Condition



第6号

発行日 2014. 4. 25

平成26年3月調査結果 “足元は景気実感良化も、増税で冷え込む先行き！”

＜調査にご協力頂いた皆さまに心よりお礼申し上げます＞

本調査は、豊田商工会議所と豊田信用金庫とが協同して半年に1回（3月／9月）実施しているDI調査です。調査モニターは、豊田市に居住もしくは勤務されている個人の方です。全国、東海とは、内閣府「景気ウォッチャー3月調査」における計数です。（本調査は、内閣府調査に準じて実施しています。）今回の特別調査は、前回に続き、豊田市の消費意欲と幸福感です。

＜今回：調査概要＞

調査期間：3/17～4/14に実施
調査モニター数：297名
有効回答客体：221名 有効回答率：74.4%

＜事務局＞

豊田商工会議所 玉田 0565-32-4593
豊田信用金庫 高橋 0565-36-1384

＜景気実感指数＞
（DI指数）
（現状判断） ⇒ 2～3ヶ月前から現在までの景気の変化をどう感じますか？
（先行き判断） ⇒ 今から2～3ヶ月後までの景気の推移をどう予想していますか？
（水準判断） ⇒ 今、現在の景気実感はどうですか？

《平成26年3月の豊田市の景気天気図》（調査結果）

	現状判断DI				先行き判断DI				水準判断DI			
	家計	企業	雇用	総合	家計	企業	雇用	総合	家計	企業	雇用	総合
豊田	55.8	58.7	67.5	57.6	46.7	43.4	52.5	45.5	52.2	59.2	62.5	55.8
全国	57.0	58.4	62.8	57.9	31.3	39.0	47.1	34.7	58.0	59.9	64.7	59.1
東海	55.7	—	—	57.0	31.5	—	—	34.6	57.5	—	—	59.3

【天気図の見方】 大きな晴れ：DI60点以上／晴れ：DI50～60点未満／曇：DI40～50点未満／雨：DI40点未満

＜DIの算出方法＞

評価段階		5	4	3	2	1
評価	現状	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
	先行き	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
	水準	（良い）	（やや良い）	（どちらでも）	（やや悪い）	（悪い）
付与点数		1	0.75	0.5	0.25	0

5段階評価での回答数集計→評価別回答数の構成割合（100%比）を算出→構成割合に上記の付与点数を掛けて合計値を算出、その合計値がDI値です。DIは“景気の動きに対する評価への投票”とも言えます。

☆豊田景気実感調査 総括

今回の調査は、本年4月1日実施の「消費税増税」を跨るものとなり、結果的に消費税増税の影響を調査する内容となりました。調査結果では、消費税増税前後のいずれの判断DIでも、豊田は全国、東海対比で、際立った特徴が見られました。

（現状判断DI 消費税増税前）

豊田は、既に半年前（25年9月）に全国を上回る“晴れ”の状態にあり、半年前からの改善幅は全国、東海に比べ小さいものに止まりましたが、引き続き全国並みの“晴れ”を維持しました。

（先行き判断DI 消費税増税後）

消費税増税前の駆け込み需要の反動を敏感に感じておられる様子が窺え、豊田、全国、東海とも足元対比DIの大幅な落ち込みとなりました。しかし、同じ落ち込みでも、全国、東海の“雨”に対し、豊田は雇用関連等が下支えとなって“曇”に止まっています。雇用関連については、豊田のみ依然“晴れ”を維持しています。

（水準判断DI）

景気的水準に対する評価では、豊田、全国、東海とも“晴れ”となっていますが、豊田は全国対比、少し厳しい見方をしており、中でも小売、飲食関連が前回に続き、全国対比若干弱い回答となっています。豊田では、業種により判断に格差があります。

（特別調査） 今後の所得見通しは、全体としては7割の方が引き続き悲観的ポジションをとっています。一方で、欲しいモノ等の有無を調査した結果からは、欲しいモノ等があると回答した方が6割近くに及び（欲しいモノの2位に自動車）、潜在的な消費意欲の強さが窺えます。なお、豊田の幸福度7点以上（10点満点）は55.6%と全国（51%＜2013年＞）を上回る水準となっています。（次回調査：平成26年9月）

調査結果

現状判断総合DIは「57.6」 ～ 前回調査比1.9ポイント上昇 ～

(1) 景気天気図 (前回調査との比較)

【平成25年9月：前回調査】

	現状判断DI			
	家計	企業	雇用	総合
豊田	53.0	59.1	57.7	55.7
全国	50.6	55.9	60.3	52.8
東海	49.5	—	—	53.0

豊田は総合で、前回調査比+1.9pと全国(+5.1)を下回りましたが、57.6で全国(57.9)並みとなりました。
中でも雇用関連(67.5)の改善が全国を大きく上回っています。一方、業種別では飲食関連が弱い回答となっています。

【平成26年3月：今回調査】

	現状判断DI			
	家計	企業	雇用	総合
豊田	55.8	58.7	67.5	57.6
全国	57.0	58.4	62.8	57.9
東海	55.7	—	—	57.0

(2) 回答別構成

構成比		良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている	DI
本調査	豊田	4.5	37.1	45.3	10.4	2.7	57.6
	全国	8.4	34.8	40.6	12.5	3.7	57.9
内閣府	東海	5.8	37.2	39.8	13.7	3.5	57.0

(3) 業種別比較 (※DIが50以上に網掛け表示)

業種	豊田市 (A)	全国 (B)	(A) - (B)	東海 (C)	(A) - (C)
家計動向関連	55.8	57.0	▲ 1.2	55.7	+ 0.1
小売関連	53.0	60.7	▲ 7.7	—	—
飲食関連	40.9	48.8	▲ 7.9	—	—
サービス関連	60.1	52.5	+ 7.6	—	—
住宅関連	67.5	50.3	+ 17.2	—	—
企業動向関連	58.7	58.4	+ 0.3	—	—
製造業	59.4	57.0	+ 2.4	—	—
非製造業	56.9	59.6	▲ 2.7	—	—
雇用関連	67.5	62.8	+ 4.7	—	—
合計	57.6	57.9	▲ 0.3	57	+ 0.6

(4) 景気モニターのコメント紹介 +：回復感あり -：回復感なし

- + 労使交渉の結果を見ても、一般的に景気の上向きを感じている。(輸送用機械従業員)
- + 自動車関連部品の動向が活発で、当面はこの状況が続くと思われる。(輸送業従業員)
- + 新規求人数が増加。求人者の採用意欲の高まりを感じている。(職業安定所職員)
- 海外とのコスト競争が激化。空洞化懸念から原価割れでの受注合戦が行われている。(金属製品従業員)

先行き判断総合DIは「45.5」 ～ 前回調査比9.8ポイント大幅下落 ～

(1) 景気天気図 (前回調査との比較)

【平成25年9月：前回調査】

	先行き判断DI			
	家計	企業	雇用	総合
豊田	53.8	55.1	69.2	55.3
全国	52.9	55.2	60.2	54.2
東海	53.7	—	—	56.0

先行き判断DIは豊田だけに限らず、総じて大幅に悪化しております。しかし、豊田は雇用関連(52.5)の下支えの他、家計、企業とも全国対比で“量”に止まっています。
サービス関連や雇用関連では全国比で見れば、先行きへの期待感が強まっています。

【平成26年3月：今回調査】

	先行き判断DI			
	家計	企業	雇用	総合
豊田	46.7	43.4	52.5	45.5
全国	31.3	39.0	47.1	34.7
東海	31.5	—	—	34.6

先行き判断の続き

(2) 回答別構成

構成比		良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる	D I
本調査	豊田	1.4	23.5	36.7	32.6	5.8	45.5
内閣府	全国	1.3	10.4	29.1	43.8	15.4	34.7
	東海	1.3	11.1	27.9	44.2	15.5	34.6

(3) 業種別比較 (※D I が50以上に網掛け表示)

業種	豊田市 (A)	全国 (B)	(A) - (B)	東海 (C)	(A) - (C)
家計動向関連	46.7	31.3	+ 15.4	31.5	+ 15.2
小売関連	44.5	25.6	+ 18.9	—	—
飲食関連	50.0	32.2	+ 17.8	—	—
サービス関連	50.6	41.2	+ 9.4	—	—
住宅関連	37.5	39.5	▲ 2.0	—	—
企業動向関連	43.4	39.0	+ 4.4	—	—
製造業	43.8	40.2	+ 3.6	—	—
非製造業	42.0	38.1	+ 3.9	—	—
雇用関連	52.5	47.1	+ 5.4	—	—
合計	45.5	34.7	+ 10.8	34.6	+ 10.9

(4) 景気モニターのコメント紹介 + : 回復感あり - : 回復感なし

- + 取引先の生産計画（内示）及び営業情報（先6ヶ月）から比較的安定推移すると思われる。（輸送用機械従業員）
- 売上が伸びない状況下での消費税増税で、おのずと消費が鈍る。（商店街代表者）
- 消費税増税による国内販売台数の減少及びそれに伴う設備投資の凍結が予想される。（金属製品従業員）
- 仕事量の減少に加え、激しい競争から増税分の販売価格転嫁が難しい状況が続くと予想。（印刷関連従業員）

水準判断総合D I は「55.8」 ～ 前回調査比5.2ポイントの上昇 ～

(1) 景気天気図 (前回調査との比較)

【平成25年9月：前回調査】

	水準判断D I			
	家計	企業	雇用	総合
豊田	48.1	53.4	53.8	50.6
全国	46.4	52.6	60.7	49.3
東海	46.3	—	—	50.0

水準判断D Iは、半年前に比べ豊田、全国、東海ともかなり改善し、総じて“晴れ”となりました。しかし、豊田は全国、東海と比べると水準判断が少し厳しい見方となっています。業種別に判断に格差があり、豊田では小売、飲食関連が全国比厳しい見方です。

【平成26年3月：今回調査】

	水準判断D I			
	家計	企業	雇用	総合
豊田	52.2	59.2	62.5	55.8
全国	58.0	59.9	64.7	59.1
東海	57.5	—	—	59.3

(2) 回答別構成

構成比		良い	やや良い	どちらとも いえない	やや悪い	悪い	D I
本調査	豊田	3.6	39.8	36.7	15.8	4.1	55.8
内閣府	全国	12.0	35.0	35.2	12.9	4.9	59.1
	東海	11.1	34.5	38.9	11.5	4.0	59.3

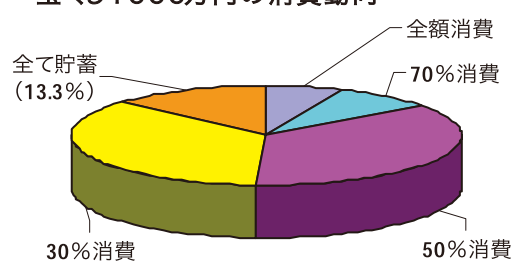
(3) 業種別比較 (※D I が50以上に網掛け表示)

業種	豊田市 (A)	全国 (B)	(A) - (B)	東海 (C)	(A) - (C)
家計動向関連	52.2	58.0	▲ 5.8	57.5	▲ 5.3
小売関連	46.5	62.2	▲ 15.7	—	—
飲食関連	47.7	49.1	▲ 1.4	—	—
サービス関連	57.7	52.7	+ 5.0	—	—
住宅関連	62.5	50.3	+ 12.2	—	—
企業動向関連	59.2	59.9	▲ 0.7	—	—
製造業	58.7	58.5	+ 0.2	—	—
非製造業	60.3	61.4	▲ 1.1	—	—
雇用関連	62.5	64.7	▲ 2.2	—	—
合計	55.8	59.1	▲ 3.3	59.3	▲ 3.5

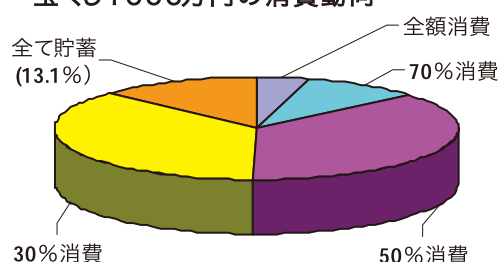
特別調査 豊田市における消費動向・幸福度の調査

1,000万円の宝くじが当たった場合、その何%を消費に回しますか？ ～ 消費意欲、若干の改善 ～

宝くじ1000万円の消費動向

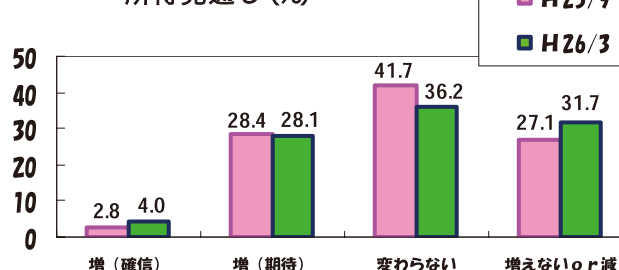
平均消費割合
前回35%→今回38%平均消費割合は
+3%の上昇

宝くじ1000万円の消費動向



今後の所得見通しを前回調査に引き続き調査しました。

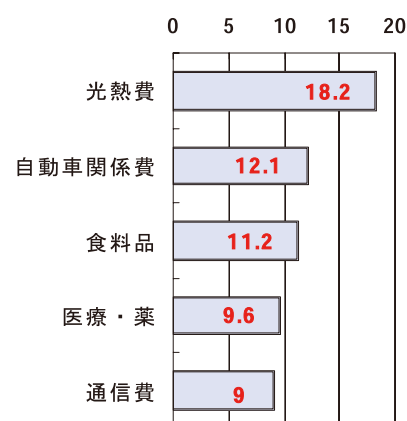
所得見通し (%)



変わらない、増えない(減)との回答が依然7割です。節約意識に大きな変化は無い様子です。ただ、回答に若干変動があり、今後の賃上げ等への関心の高まりが窺えます。

家計負担の増加項目を調査しました。

負担増のベスト5 (%)

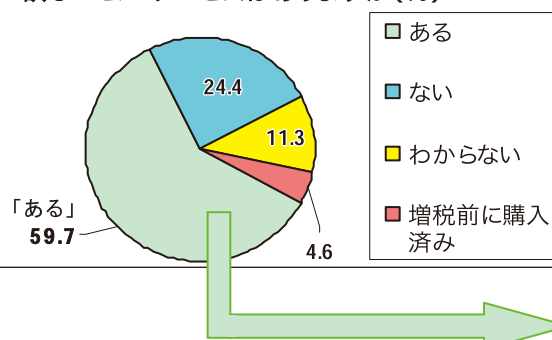


負担増のベスト5を見ますと、私達の生活に近い項目が並び、且つ燃料・エネルギー関係の価格高騰が全てに影響している様子が窺えます。

政府において、生活必需品に対する軽減税率適用が協議されていますが、その動向も今後の消費動向に大きな影響を与える事が推察されます。

欲しいモノ、サービスの有無とその内容について調査しました。

欲しいモノ・サービスはありますか (%)

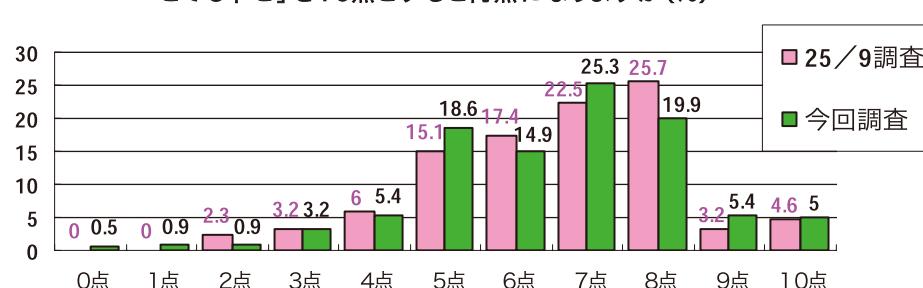


「ある」という回答が実に6割となりました。潜在的消費意欲の高さが窺えます。所得見通しの低迷から“消費欲”が抑えられている構図がはっきりしています。

- 1位：教養・娯楽
旅行等 (30%)
2位：自動車 (24%)
3位：電化製品 (17%)
※ () 内は回答割合

幸福度を前回から引き続き調査しました。 ～ あなたはどの程度幸せですか？ ～

「とても幸せ」を10点とすると何点になりますか (%)



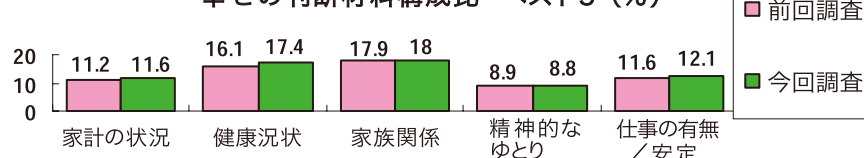
7点以上と回答された割合は55.6% (前回比-0.4%) と前回並みとなりました。全国比高い水準です。

内閣府の国民生活選好度調査

※全国2013/3月：51% (7点以上)

また、幸福度の判断材料は、家族関係、健康状況が上位となっています。

幸せの判断材料構成比 ベスト5 (%)



地域経済研究グループ

電話 0565-36-1384

MAIL kenkyug@toyoshin.co.jp